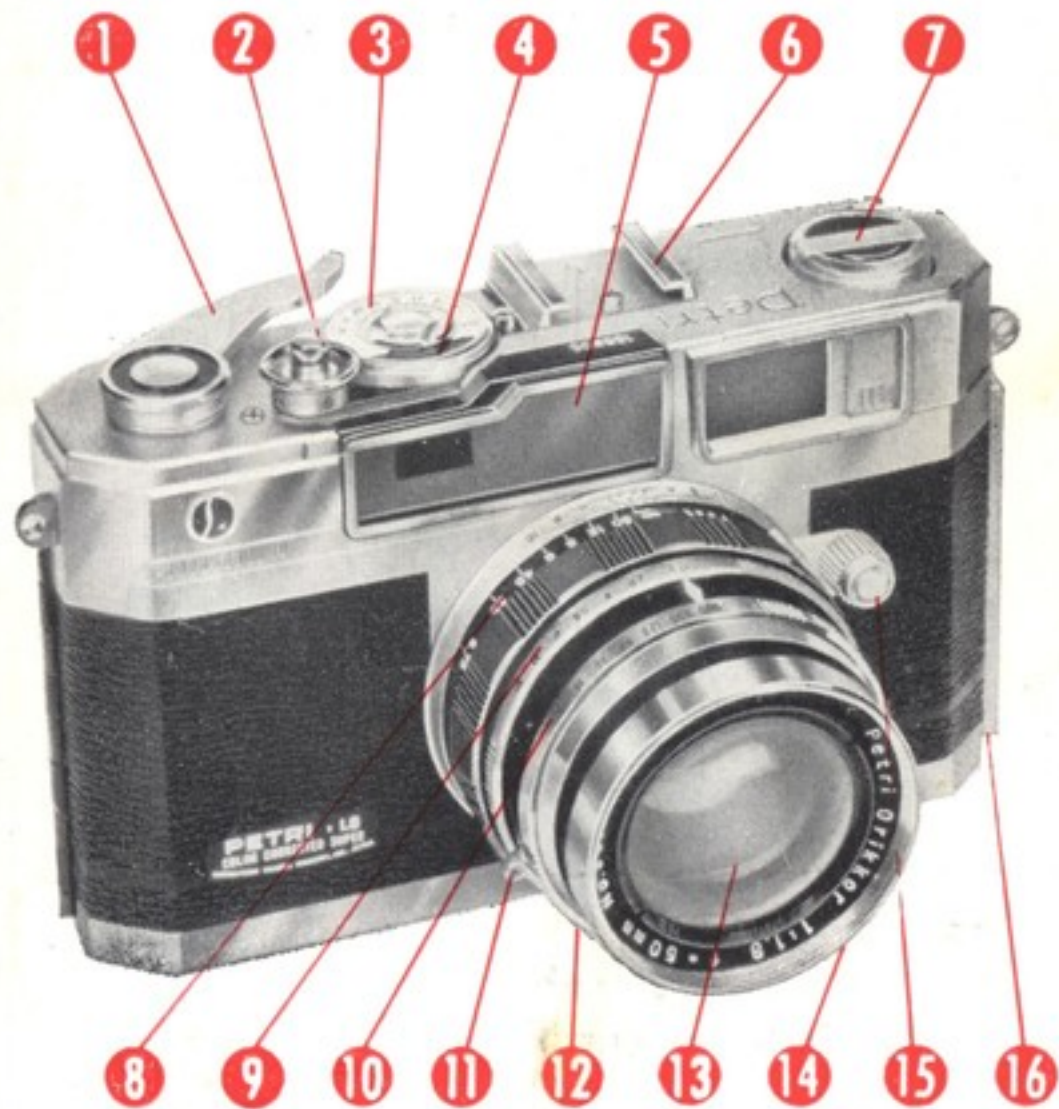


INSTRUCTION BOOK

PETRI

10



DESCRIPTION OF PARTS

- ① フィルム捲上げレバー
- ② シャッターレリーズボタン
- ③ フィルム指示表
- ④ フィルムNo.
- ⑤ グリン・オマチック・ファインダー
- ⑥ アクセサリークリップ
- ⑦ フィルム捲戻しハンドル
- ⑧ 焦点深度表目盛
- ⑨ 絞り目盛
- ⑩ シャッタースピード目盛
- ⑪ セルフタイマー
- ⑫ MX切替レバー
- ⑬ オリコール1・1.8 F = 50mmレンズ
- ⑭ シンクローターミナル
- ⑮ ヘリコイドレバー
- ⑯ 裏蓋開閉レバー

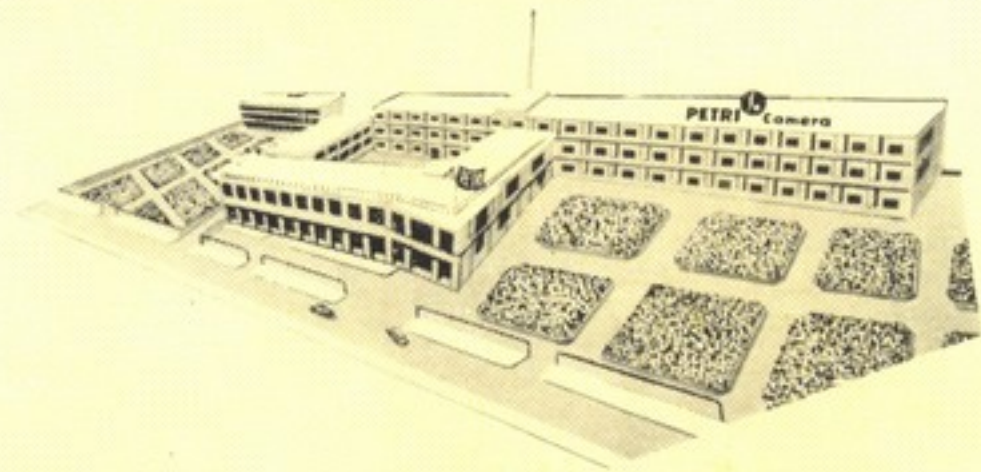
目次

- ・ ペトリ 1.8 について…………… 2～ 3
- ・ オリコールレンズ…………… 1～ 5
- ・ パララックス完全自動匡正装置…………… 6
- ・ 新機構…………… 7
- ・ ペトリ 1.8 の機構…………… 8
- ・ ペトリ 1.8 の操作方法…………… 9～11
- ・ カメラの構え方…………… 12～13
- ・ ファインダーの見方…………… 14
- ・ フィルム指示表…………… 15
- ・ 絞りとシャッターの調節…………… 16
- ・ 四季の簡易露出表…………… 17
- ・ 焦点深度表の活用…………… 18～19
- ・ シンクロ…………… 20～21
- ・ シンクロ撮影と露出…………… 22
- ・ コパルシャッターについて…………… 23
- ・ フィルムを取出す方法…………… 24
- ・ 撮影が終わったら…………… 25
- ・ ペトリアクセサリー…………… 26
- ・ ペトリフィルターの使用効果…………… 27
- ・ 作例写真…………… 28
- ・ カメラ取扱ひと保存…………… 29

歴 史
信 用
技 術
設 備
優 美



弊社は写真機の製造を初めました大正初期より**四十余年**の歴史を持つ、**国産最古のカメラメーカー**であります。此の度**ペトリ 1.8**を生み出す迄には十数種のカメラを皆様のお手元へ送り出して居ります。大正初期にスピードフレックス、昭和に入りセミファースト等ファーストカメラ全種を製造し、戦後はいち早く**(距離計付)**ペトリ・カロロン等を発売し、昭和27年頃にはペトリRF・ペトリフレックス・ペトリスーパー等、御記憶に新しい処と存じます。又最近にはペトリ35 F/2.8ペトリオー



トメイト、ペトリ F2. ペトリ 2.8 等を発売して、広く内外の皆様から親しまれて参りました。

以上の様に**永い経験と優秀なる技術陣**を動員し併せて**近代的工場設備**を持ち、**レンズ・ボディ・シャッター**とその製作工程（**プレス・旋盤・鍍金・塗装**）より組立に至る迄、**近代的コンベヤーメーション・システム**を採用し、各部はすべて粗材より仕上、組立、検査、完成の工程を**社内一貫作業**により、優秀なるカメラを皆様のお手元へ送り出して居ります。**ペトリ 1.8** カメラの特長は堅牢でしかも優美なことであります。又**高性能にして買い易い価格**、此の**二大特長**を弊社は誇りと致して居ります。

オリコール レンズ

高度の鮮鋭度

画面全般に亘る均一性
を持ち周辺部迄フレヤ
ー皆無

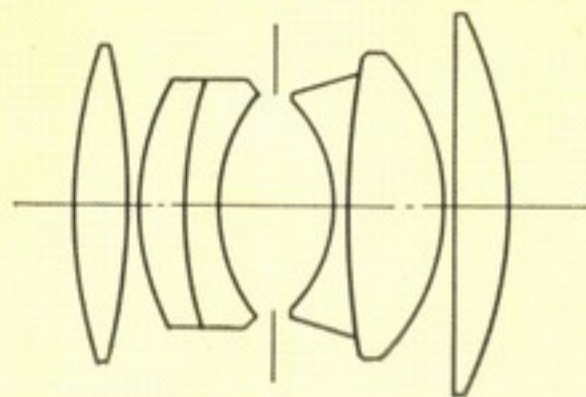
カラー撮影に最適

アンバーコーティング

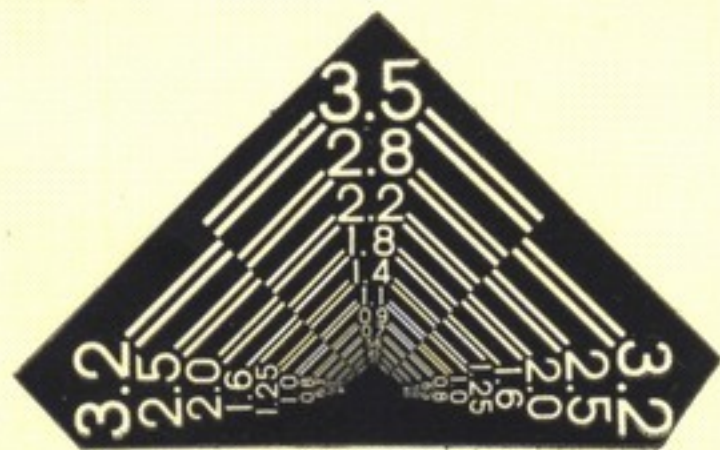
優雅なコントラスト

新種光学ガラス使用により
各収差は最大限に矯正され
たニュースタイル・レンズ

ORIKKOR LENS F/1.8



TEST CHART



スーパー・オリコール F/1.8 50mmに就いて

従来から鮮鋭なレンズの一つとして定評のあったオリコールF 2レンズに徹底的な検討を加え改良設計を行って完成したニュースタイルレンズです。ランタンガラスを含む特殊光学硝子を豊富に使用して、解像力描写力が共に最高の水準を行き、球面収差・非点収差・コマ収差或いは絞りによる焦点移動など画像の不安は全く認められません。更に、ペトリ独特のアンバーコーティングによる効果は、モノクロームは勿論カラー撮影に偉力を発揮して海外の輸出先特にアメリカなどで好評を得ています。



パララックス完全自動匡正装置

遠くの被写体を撮影する場合と近くの物を写す場合とでは実際にフィルム面に写る範囲がファインダーで覗いた部分と相当の開きが生じます。此の為に今迄のカメラですと近接撮影の場合、よく頭が切れたりする事がありますが**ベトリ 1.8 カメラ**ではこれを防止する為にヘリコイドを動かす事によって連動距離計と一緒にファインダーの枠が動きますのでこの様な失敗は全然起きません。

∞Feet



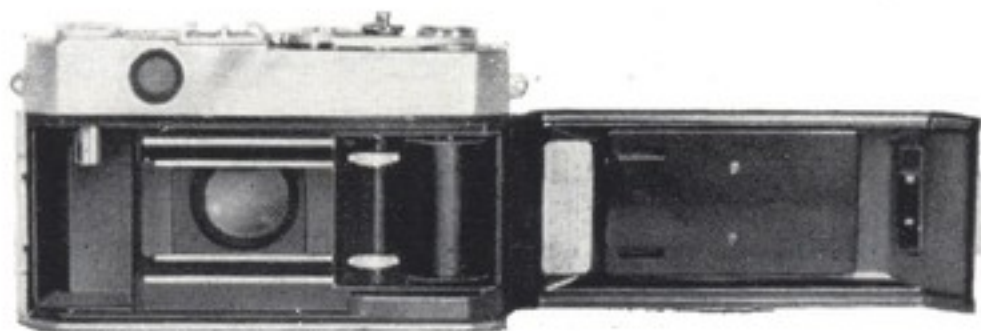
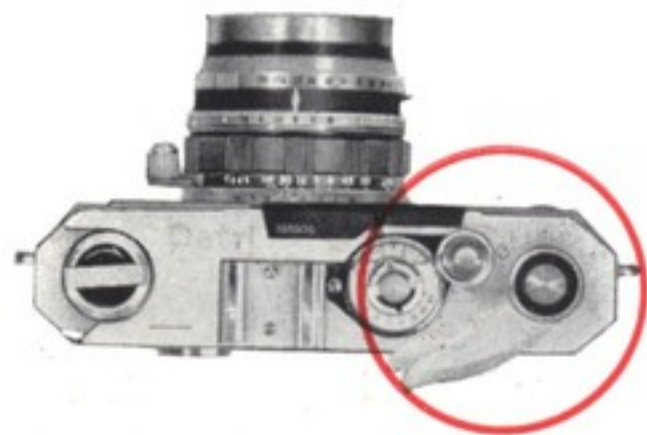
頭の切れる写真の心配
はなくなりました。

2.75 Feet

新機構

ダブルクラッチ式

フィルム捲上げは、ワンセット・セルフコッキング機構でダブルクラッチ式になっておりますから、常にレバーを親指に掛け速写には偉力を発揮出来ます。



裏蓋開閉方式

プレッシャープレートがスプロケット全面を覆う位置まで延長されて、フィルムカーリングの諸問題も、不安なく解決されています。尚、内面反射防止枠も装置されております。

ペトリ 1.8

の機構

ペトリ 1.8 カメラはライカ判専用カメラとして、35mm フィルム（20枚・36枚）を使って、其の精度を高めると共に速写性を十分に生かす様設計されて居ります。

ペトリ 1.8 カメラはヘリコイド式連動距離計を持ち、ヘリコイドを動かす事により、明るく見易いゴールデンフレーム・パララックスファインダーが動き、常に正しい撮影の範囲が得られる完全な連動距離計パララックス自動匡正カメラであります。

フィルム捲き上げはレバー式ワンストロークでフィルム1枚を送り、シャッターセットはフィルム捲き上げと同時に居りますから、捲き上げレバーを捲き距離計を合はせ、シャッターを切る速写性に富んだ機構はスナップ撮影等に偉力を発揮します。



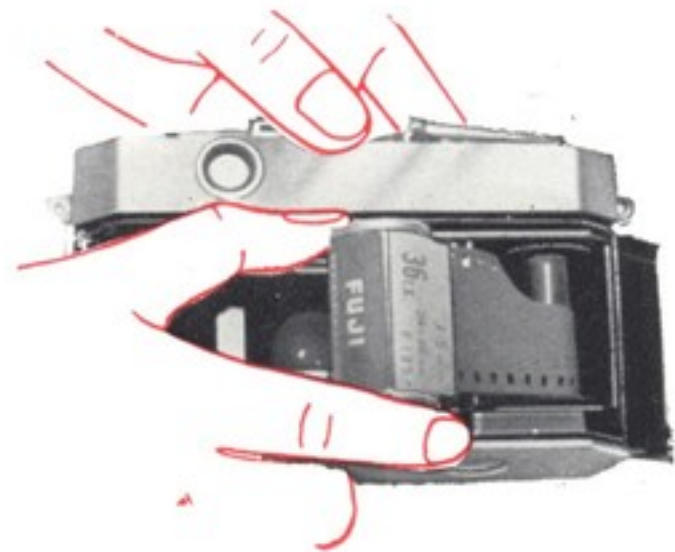
裏蓋開閉 (A)

開閉レバーを引きます。



裏蓋開閉 (B)

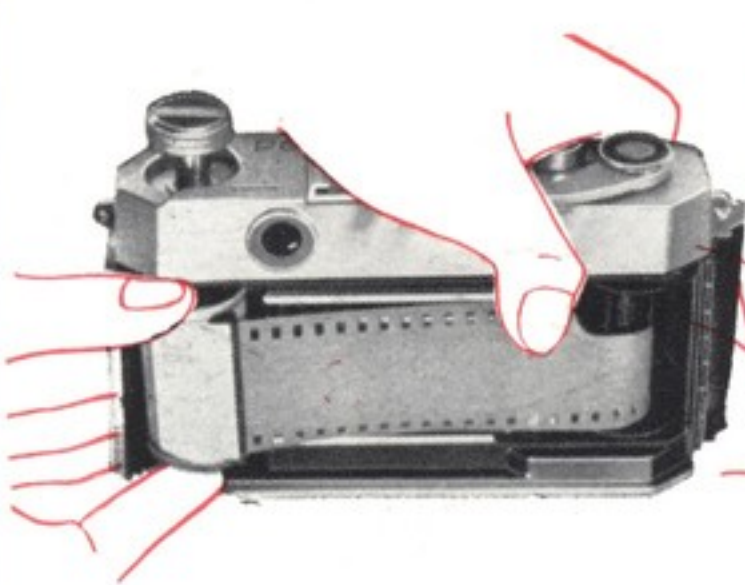
写真の様に裏蓋を開きます。



フィルム装填 (A)

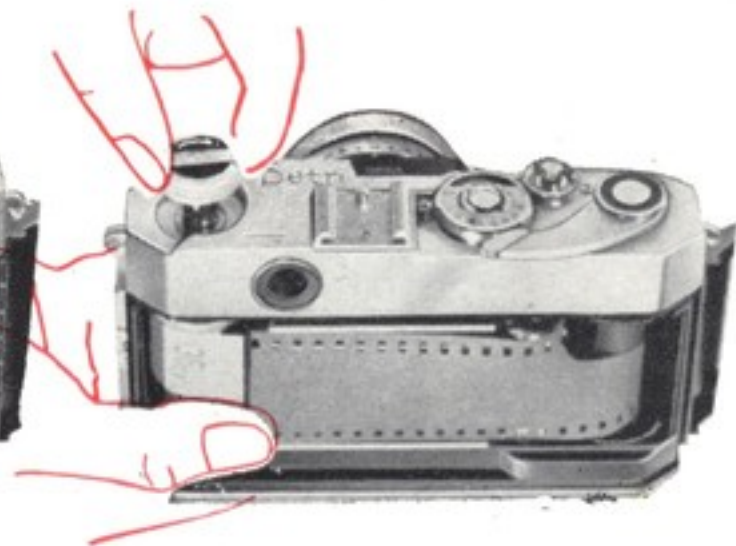
フィルムの先端を捲取用スプールの溝に差込みます。

ペトリー 1.8 の操作方法



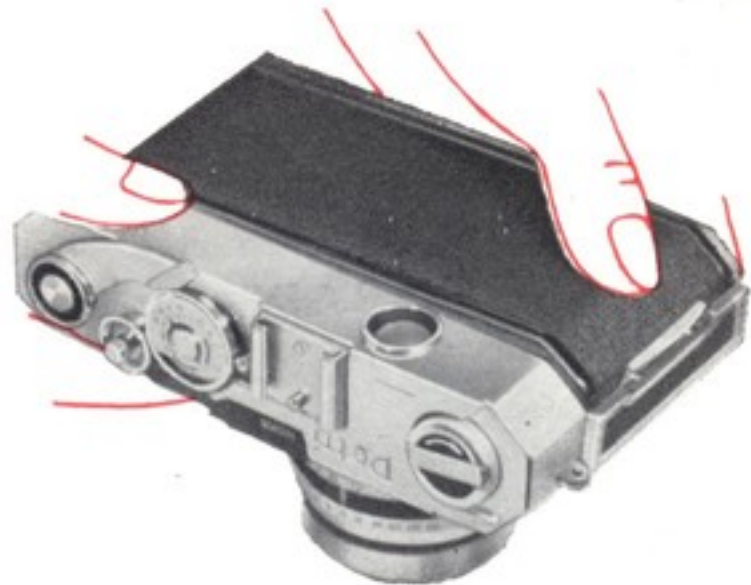
フィルム装填 (B)

フィルムをリターンノ
ツプ迄引延しフィルム
を装填し、フィルム両
端のコマが歯車に入る
迄捲きます。



フィルム装填 (C)

写真の様にリターンノ
ツプを引きフィルムを
装填します。



裏蓋開閉

裏蓋は写真の様に押す
事により自動的に閉り
ますと同時にフィルム
指示表にSのマークが
出ます。



フィルム指示表

捲上げレバーとボデーシャッターを交互に操作し、フィルム指示表が No. 1 になるまで捲上げます。捲上げハンドルは止る所迄完全に捲上げて下さい。



露出設定 (A)

シャッターダイヤルを廻してシャッタースピードを決めます。



露出設定 (B)

絞り調節ダイヤルを操作して露出をきめます。
シャッタースピードとレンズ絞りによる露出はカメラ上部より一線に見られます。シャッター速度目盛と絞り目盛にクリックストップがついて居りますから撮影中、目盛のずれる心配はありません。

カメラ の構え方

35mm カメラは原板サイズが小さいため、**わずかのカメラぶれも写真の鮮鋭度に大きく影響します。**従ってカメラの構え方は二眼レフやスプリングカメラ以上に注意が必要です。カメラを構えるには縦位置の場合でも横位置の場合でも両肘はできるだけ体につけ、**安定した姿勢で無理なく構えるということが大切です。**無理な姿勢、不安定な構えはカメラぶれの原因になります。これではいくら高級カメラを使用してもボックスカメラで撮影した写真にも劣るという結果にもなりかねません。

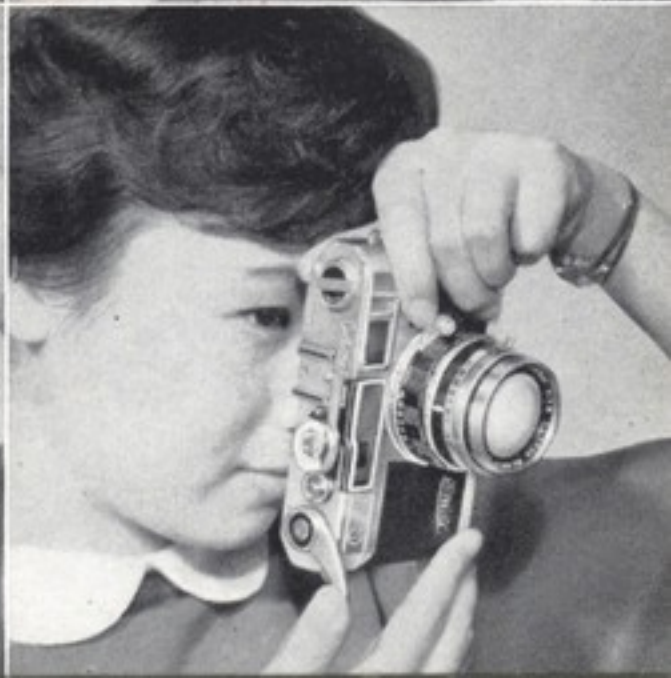


NO

OK

ファインダーを覗き視野をきめる。

上図に示された様に二重像が合致する迄ヘリコイドを移動し完全な焦点を得てから撮影して下さい。



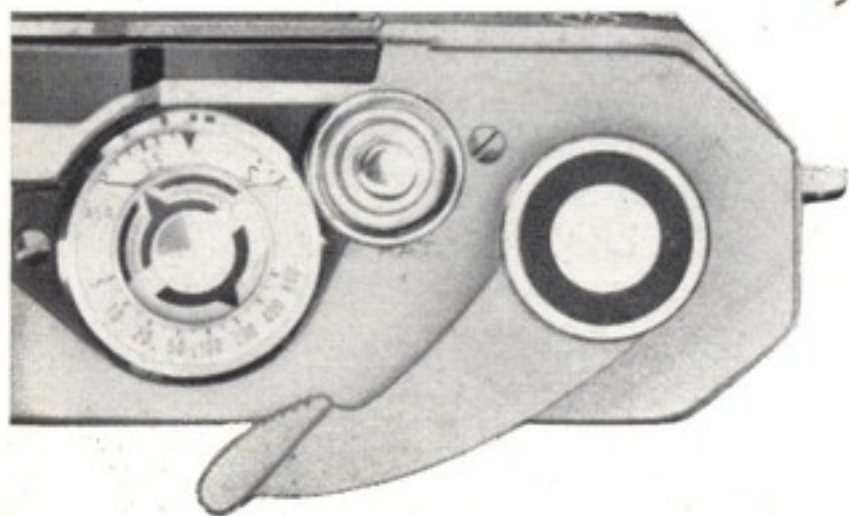
ファインダー の見方

GREEN-O-MATIC SYSTEM

ベトリ 1.8 カメラのファインダーは、全く新しいアイデアを基に設計された、グリーン・オ・マチック・システムです。

- ① グリーン・フィルター（特殊クラウンガラス使用）
- ② ゴールデンフレーム式パラックス完全自動匡正機構
- ③ ワイドタイプのアイピースなど数々の新しい機構が採用されています。このため、長時間ファインダーを覗いて居ても目の疲労感を全然感じさせず特に暗部撮影の場合非常に明るく見易い様に設計してあります。これはパララックス完全自動匡正装置と相俟ってスポーツ写真やスナップ撮影などの場合従来のカメラに有りがちな画面のケラレなど未然に防ぐこともできます。亦眼鏡を掛けたままでも適格に被写体を写せる事も特徴の一つです。

フィルム 指示表



ベトリ1.8カメラのフィルム指示表により装填されたフィルムの種別を知る事が出来ます。35mmフィルムは色々種類がありますので、どのフィルムを装填したか区別がつかなくなる事があります。かようにフィルム指示表は御使用の際にフィルムの種別(ASA)を記憶するのに役立つ事となります。フィルム指示表には通常使用される八種のフィルムのASA指数が記されてありますので、装填されたフィルムの感光度(ASA)を指先にて矢印に合わせる様に廻して下さい。尚フィルムカウンターが同じ場所に装置されて居りますから御使用になる場合は非常に便利です。

絞りと シャッター の調節

絞りとシャッターの調節は天候（晴曇雨）季節（春、夏、秋、冬）等により異なりますが、右に示す表を御参照になって下さい。併し大体の標準ですから少々はその時、場所、背影等により異なりますからそれに応じて適性な露出を決めます。露出の適性、不適性はフィルムの受ける感光度の大小ですから写真に最も影響します。露出が少な過ぎたり、多すぎたりする場合は印画に白く出たり、黒く出たりして良い写真が得られません。

現像は(20枚～36枚)一本を一回に行いますから各一駒一駒が適性でも一本が均一な露出になっていないと現像時間を片方に合わせる為不均一のものは不良になります。昼間撮影と朝夕撮影を一本に収める時は特に正しい露出を決めなくてはなりません。尚シャッター速度目盛と絞り目盛は等間隔となっており居りますので速度目盛を一段ずらした場合絞り目盛を同一方向に一段廻し込めば常に同じ露出が得られます。

四季の
簡易露出表

(午前10時～午後2時)

| 被写体 | 季節 | 春 | 夏 | 秋 | 冬 |
|------------------|------------------|---------------------|-------------|--------------------|-------------|
| | 月 | 3, 4, 5 | 6, 7, 8 | 9, 10, 11 | 12, 1, 2 |
| 海、山、雪景 展開した風景 | | f16 1/250秒 | f22 1/500秒 | f16 1/250秒 | f11 1/250秒 |
| 普通風景 | | f11 1/200秒 | f16 1/200秒 | f11 1/250秒 | f8 1/250秒 |
| 明るい街路 スナップ | | f8 1/500秒 | f11 1/500秒 | f8 1/250秒 | f8 1/100秒 |
| 戸外集合人物 | | f8 1/100秒 | f8 1/250秒 | f8 1/100秒 | f5.6 1/100秒 |
| 戸外人物大写 | | f5.6 1/100秒 | f5.6 1/250秒 | f5.6 1/50秒 | f4 1/50秒 |
| 日蔭人物 | | f4 1/100秒 | f4 1/250秒 | f4 1/50秒 | f4 1/25秒 |
| 天候 | 快晴 | 薄曇 | 普通曇 | 極曇 | |
| | 上記標準 | 2倍 | 3倍 | 4倍 | |
| 時刻 | 午前10時～午後2時 標準 | 午前9時～10時 午後2時～3時 | 2倍 | 午前8時～9時 午前3時～4時 | 3倍 |
| フィルム | ASA 100 標準 | | | ASA 50 2倍 | |

焦点深度 の活用

焦点深度はレンズの絞りに関係があるだけでなく、レンズの焦点距離の違いにより変化します。同一F値のレンズでも焦点距離の短いレンズは焦点深度が深く、長いレンズは浅くなります。同じF1.8であっても35mm判の50mmのレンズは6×6判、セミ判の75mmのレンズより深い焦点深度を持って居ります。又同一レンズでも近距離にピントを合わせると焦点深度は浅いが遠距離では深くなり、尚ピントを合わせた中心点より遠方に深く手前の方に浅くなっております。こうした焦点深度には一定の基準があり、これにより算出した焦点深度の目盛を表にしたものが焦点深度表であります。この焦点深度表によれば、正しくピントの合う範囲がたゞちに分り撮影が迅速に行われます。例えば 4.5 feet にいる



人物と5.5feetにある建物を鮮明に写したいときは50mmのレンズならばf8に絞って距離4.5feetに合わせます。又中景以遠を焦点深度内に入れ時、この表によれば容易で12feetに合わせて50mmのレンズならばf16に絞れば6feetから遠景までピントが合い、スナップなどはいちいち焦点調節しなくても6feet以上の被写体なら安心して写せる様になります。

| F Feet | 1.8 | 2.8 | 4 | 5.6 | 8 | 11 | 16 |
|-----------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|
| 2.75 | 2.83~2.68 | 2.87~2.64 | 2.93~2.59 | 3.00~2.54 | 3.13~2.46 | 3.29~2.36 | 3.48~2.22 |
| 3.5 | 3.63~3.38 | 3.70~3.32 | 3.79~3.25 | 3.93~3.16 | 4.14~3.03 | 4.45~2.89 | 5.07~2.78 |
| 4.5 | 4.71~4.31 | 4.84~4.21 | 5.01~4.09 | 5.24~3.94 | 5.64~3.75 | 6.23~3.52 | 7.54~3.21 |
| 6.0 | 6.39~5.66 | 6.63~5.48 | 6.94~5.29 | 7.41~5.04 | 7.95~4.72 | 9.58~4.37 | 11.95~3.89 |
| 8.0 | 8.71~7.40 | 9.17~7.10 | 9.78~6.77 | 10.74~6.37 | 11.59~6.05 | 16.05~5.33 | 29.59~4.63 |
| 12.0 | 13.70~10.68 | 14.86~10.07 | 16.56~9.42 | 19.53~8.67 | 26.74~8.15 | 49.50~6.83 | ~ ~ 6.05 |
| 30.0 | 43.67~22.88 | 58.48~20.20 | 98.04~17.73 | ~ ~ 15.22 | ~ ~ 12.56 | ~ ~ 10.31 | ~ ~ 8.13 |
| ~ | ~ ~ 96.15 | ~ ~ 61.35 | ~ ~ 42.92 | ~ ~ 30.67 | ~ ~ 21.46 | ~ ~ 15.66 | ~ ~ 10.73 |

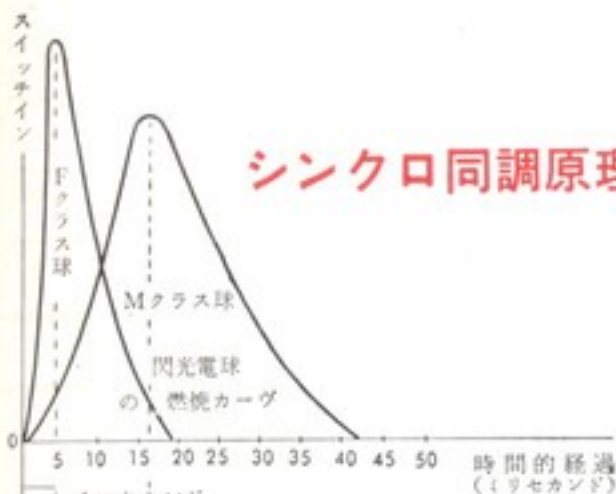
シンクロ

シンクロコード（ドイツ式）をシャッターのシンクロ接点に差込むだけでもあらゆる閃光電球全シャッタースピードにフルシンクロ致します。閃光電球にはM球・F球の二種類があります。

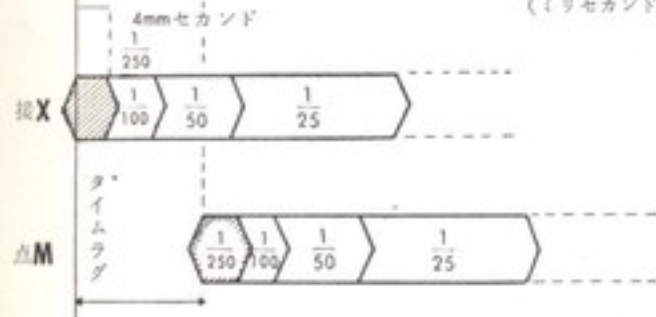
X 接点 切換レバーをXの位置におき、シャッターを切ることによりシャッター全開時にシンクロし（タイムラグ0）1/100秒以上の高速シャッター使用の場合ストロボ専用となる（ストロボ使用全シャッタースピード同調）

M 接点 切換レバーをMの位置におきシャッターをセットし、シャッターを切ることによりシャッター開放前にシンクロし（シャッター全開時迄のタイムラグ18 $\frac{1}{100}$ 秒）M級の電球を使用することにより全シャッタースピードに同調します。

セルフタイマー使用時 接点をXの位置におくことによりセルフタイマーを使用することが出来る。此の場合セルフタイマーを使用しながらシンクロを必要とする際はストロボ以外の使用に対してF級の球を使用し1/50秒以下のシャッターを使用する。但しM接点ではセルフタイマーを使用する事は出来ません。



シンクロ同調原理図表



凡例



の斜線は上部閃光電球燃焼カーブとの見合い最高シャッタースピードとの同調可能限度を示す

は

シャッター開き初め

を示し
数字は
1/250 秒
(4ミリ秒)

を示す。



シンクロ撮影について

シンクロ撮影については応々にして故障を生じたり撮影不馴れのため、失敗を起しますので良く研究、点検してから撮影にかまりましょう。

閃光電球の不発

フラッシュガンの故障
コードの接続不良

乾電池の不良

乾電池が古くなると電圧が低下する為、不発又は発火しても同調しない原因となります。

シンクロ撮影について

シンクロ標準露出表

| 使用電球 NO 総光量ルーメン カセンド | 2 | 絞 り | | | | | |
|----------------------------|--------|------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|
| | | F2.8 | F 4 | F5.6 | F 8 | F 11 | |
| S F | 8,000 | F | F _{ee} f 20 | F _{ee} f 18 | F _{ee} f 13 | F _{ee} f 10 | F _{ee} f 7 |
| No. 3 | 14,000 | M | 27 | 24 | 16 | 12 | 9 |
| No. 62 | 14,000 | F P | 13 | 15 | 10 | 7 | 6 |

(ウエスト使用例) シャッター速度は1/50秒又は1/100秒使用、
フィルムはコニパンS・ネオパンJ
SSフィルム使用の場合は同一絞りで撮影距離を50%増加出来ます。

一般撮影の露出は絞りとシャッター速度を調節して決定するが、シンクロ撮影では閃光電球から被写体までの距離と絞りにより決定致しますので1/25～1/10の如き緩速シャッターでも露出の変化はありません。しかし1/100秒以上の高速撮影では閃光電球の光力の一部しか使わないので、その光量により距離か、絞りを加減しなければなりません。

常に一定の閃光電球を使いその光量を有効に使うシャッターを決定して置けば絞りや距離は別表の通りになります、又被写体の明暗、室内の明暗により幾分異なりますが、自然光の殆んどない所では閃光電球の光だけを考えた別表の露出を御使用下さい。

コパル
シャッター

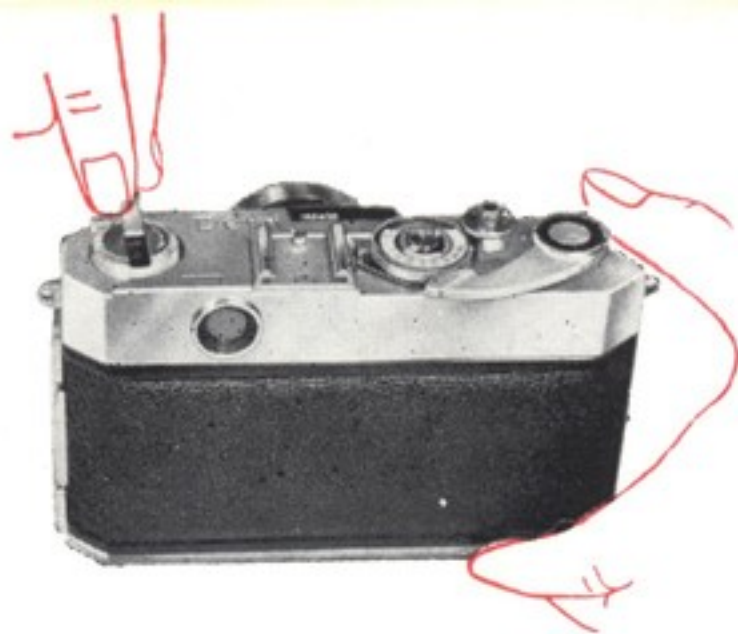
COPAL-SV
SHUTTER

- ①コパルシャッターはレリーズアクションの軽いのを一大特徴と致して居ります。
- ②セットレバーを内蔵してフィルムの捲上げと同時にチャージされるプロンタータイプで故障絶無のシャッターであります。
- ③近代シャッターの必須条件であります、フラッシュ撮影にMX接点をビルトインしております。
- ④シャッタースピードとレンズの絞りによる露出の設定はカメラ上部より一線に見られ、又シャッターと絞りは等間隔目盛ですから非常に便利です。



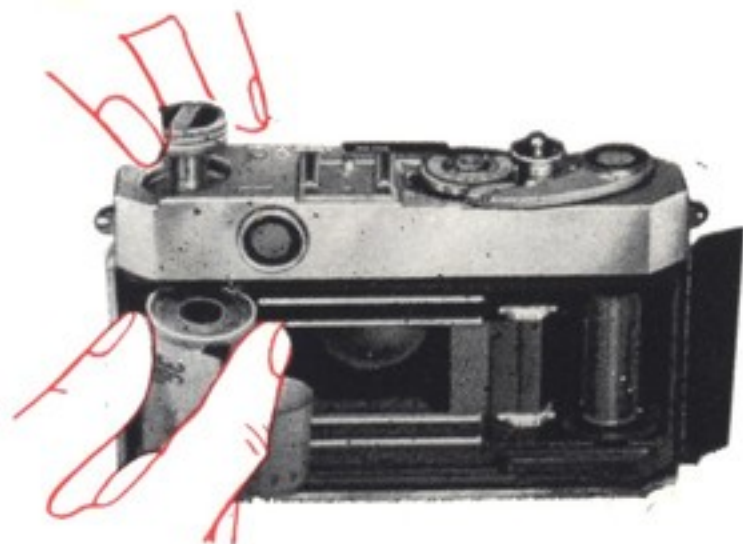
シャッタースピード
B・1秒～1/500秒
セルフタイマー内蔵
5枚羽根
フラッシュ撮影に

MX接点装備



フィルム捲戻し

下部のリターンボタンを
押しながらフィルムを再
び捲き戻す。



フィルム取外し

上部リターンノックを引
きマガジン(パトローネ)
を取り出します。

フィルムを取り出す方法

撮影が 終わったら

撮し終わったフィルムはすぐ現像することが大切です。よく撮影済のフィルムをポケットに入れて持ち歩く人がいますが、これなどは絶対にさげなければなりません。特に夏の如き高湿、高温に露出されたフィルムが合うと、カブリが現れますし、フラットになる傾向があります。特に甚しい場合は線状のカブリや斑点があらわれたり、パトネにフィルムが貼り付く場合がありますから、早めに現像することが必要です。

撮影完了フィルムの取り扱いは、パトネに捲き戻しますが、うっかりすると撮影前か撮影後のフィルムか区別が付かなくなりますので、末撮影のフィルムと区別する為、端を少し切り取るなりフィルムの膜面にペンで被写体、天候など記入しておくとう便利です。よく全部捲き込む人も居りますが、空のパトネと間違えることがありますから、注意致しましょう。



PETRI Filter w/Plastic Case

ペトリフィルター

フィルターの効用は今更述べるまでもありませんが、現在の感光材料ではフィルターを欠く事は出来ませんただ多種多様のフィルターを使い分けるのは余りに繁雑です。ペトリフィルターは最も利用の多い品 種を選んで**1.8**専用としました。

ペトリフード

斬新的なスマートさで完全なる内面反射防止が施してあります、又止ネジによる確実な装着、軽合金による軽い材質はペトリ**1.8**カメラに完全にマッチいたします。



PETRI Hood w/Leather Case

ベトリフィルターの使用効果と特徴



- Y 1** = 青空を背景とした風景、人物、建物、草花等の撮影に多く利用され、肉眼の感じに最も近い色彩の明暗感を顕してくれます。尚主題と青空とのコントラストは **Y 1**、**Y 2** の順に強くなりますから、皆様の撮影意図に依って使い分けて下さい。
- Y 2** =
- YA 3** = 強いコントラストを得るのに用いられ、特に山岳、遠景等の撮影には視角以上の克明な山肌や遠景を写し撮ります。
- R 1** = 赤色フィルターは長波光を導入しますから光の拡散が少なく、従って遠景を克明に描写する為、航空写真によく利用されるのもこの種のフィルターです。
- PO 1** = 人物撮影用フィルターとして多く利用され皮膚感を非常によく表現する事が出来ます。
- 尚**カラー用**としてデーライトタイプに多く用いられるヘーズカット（紫外線脈取用）として **UV**、温調用として **W 4**、冷調用の **C 4**、フラッシュ用 **C 8** とタンゲンテン電灯(3200K)用として **C 12** があります。





カメラの取扱ひと保存

カメラはよほど無理な扱ひ方をしない限り撮影中にそう故障を起すものではありませんが、カメラは一種の精密機械ですから機構を無視して取扱うと故障の原因になります特に注意すべきはレンズシャッターです。これは一度セットした後、セットしたまま何日もほって置くことはスプリングを弱めますから、必ずシャッターを最後に切る様習慣づけましょう。

カメラの保存は毎日カメラを使用している場合は問題ありませんが一ヶ月に一回位の時は特に注意しましょう。保存する時はカメラをケースから出して別々に箱に入れて置きます。場所は湿気のない乾燥した所(タンス、桐箱等)に置きましょう。又カメラをしまう時は各部点検手入してからしまいます。保存が長期の場合は時々取り出して点検する様に努めて下さい。

お問い合わせは……

ペトリカメラサービスステーション

東京・千代田・神田・小川町2-2

TEL. (20) 4986~8

Kuribayashi Camera Industry, Inc.

Export Office: No. 1. Umejima-machi, Adachi-ku
Tokyo, Japan Tel. (888) 1111~4

Exclusive U. S. Representative

PETRI CAMERA CO., INC.

11 West 20th Street New York 11, N. Y.

栗林写真工業株式会社

営業所 東京都千代田区神田小川町2/2
国内関係電話東京 03 4986~8

工場 東京都足立区梅島町一番地
輸出関係電話(888)1111~4